枚方市議会報

発行　枚方市議会　編集　議会広報委員会
〒573-8666　枚方市大垣内町2丁目1番20号
☎072(841)1528／FAX072(841)0240
議会報は1月 2月 5月 7月 8月 11月に発行

第349号
令和6年
(2024年)
2月1日

議会日誌

12月

12月定例月議会
8日…本会議（第1日）
一般会計補正予算、条例の一部改正、決議等を可決
15日…本会議（第2日）
8議員が一般質問
18日…本会議（第3日）
7議員が一般質問
19日…本会議（第4日）
7議員が一般質問、人事案件を可決
20日…本会議（第5日）
8議員が一般質問
22日…本会議（第6日）
一般会計補正予算、条例の一部改正、人事案件、意見書を可決

紙面あんない
市政への疑問をただす
一般質問に30議員 ▶2・3面
ぎかい探Q（たんきゅう） ▶4面
ぎかい探Qはクロスワードパズル！ぜひ見てね！

枚方市 キャラクター ひこぼしくん

1月8日に「はたちのつどい」が、市内19中学校を会場に開催されました。枚方中学校では、参加者代表の井上さん（写真左）から「はたちの想い」として、この間の家族、先生、地域の方々などへの感謝や、大人の一員としての今後の決意を述べられました。会場は、久しぶりに会う友人と近況を共有し合うなど、笑顔いっぱいの場となりました（写真上）。

勇気と希望に燃え、各々が描く夢を胸に、人生の本舞台に躍り出ていく皆さんにエールを送ります！

12月定例月議会

一般会計補正予算、条例の一部改正など 34議案を可決

令和5年12月定例月議会は、12月8日から22日までの15日間の期間で開かれ、一般会計補正予算や条例の一部改正など34議案を可決しました。また、4日間にわたり30人の議員が一般質問を行いました（詳細は2・3面）。

録画映像 12月定例月議会
↑こちらから御覧いただけます

5年度一般会計 図書館ICタグシステム導入経費／留守家庭児童会室おやつ提供業務委託経費など

補正予算(第6号)を可決

12/8 満場一致

一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出それぞれ35億7728万円を増額するものです。

歳入の主な補正内容は、財政調整基金繰入金17億9602万円、障害者自立支援給付費負担金8億6450万円の増額などです。

歳出の主な補正内容は、扶助費について、決算見込みに基づき、障害者自立支援費11億5268万円、子ども・若者医療助成費2億4269万円、生活保護費8億1474万円の増額を行うものです。

債務負担行為（＊1）の主な補正内容は、次のとおりです。

▼環境影響評価業務委託経費（④・⑤街区（＊2）の土地区画整理事業（＊3）の都市計画手続と合わせて実施）…5年度予算7000万円を減額し債務負担行為に組替え

▼図書館ICタグシステム導入事業経費（図書の管理や自動貸出しに係るシステムの導入）…2億3789万円

▼おやつ提供業務委託経費（留守家庭児童会室のおやつの調達や配送業務等の委託）…3億円

※1万円未満四捨五入

QA 本会議 質問と答弁

市駅周辺再整備 組み替えた予算の執行は適切な環境影響評価に

質問 市駅周辺再整備に係る環境影響評価業務委託の5年度予算全額の7年度までの債務負担行為（＊1）への組替えについて、変更内容を聞く。

答弁 5年7月の環境影響評価審査会の審査を経た調査内容の確定等に伴い、委託内容や契約金額の変更を予定している。

要望等 同評価を適切に行うため、同整備内容に市民合意を得るまで見合わせるべきと意見する。

市駅周辺再整備基本計画 環境影響評価の前に市民理解得られる改訂を

質問 市駅周辺再整備に係る環境影響評価業務委託契約の変更内容や今後の手続について聞く。

答弁 環境影響評価審査会等の意見を踏まえた調査箇所の追加等を行うため契約変更を行う。今後、必要な調査や市民説明会を実施し、7年度を目途に評価書を作成する。

要望等 同基本計画自体が納得できる内容ではない。市民理解を得るために見直すよう要望する。

扶助費の大幅な補正 当初予算額が適正だったのか疑問

質問 障害者自立支援費等の扶助費の補正額は20億円以上と、例年にない増額である。当初予算額が適正だったのか疑問だが、どのように計上したのか。

答弁 前年度の決算見込みを基に予算計上し、執行状況が明確になった時点で補正している。

要望等 当初予算では、市長が実施したい新規施策の財源確保のため、必要な扶助費を抑えたのではないかと意見しておく。

図書館ICタグシステム 分析が可能になる改修を

質問 ICタグシステムを図書館に導入した場合、蔵書内容や貸出傾向の分析が行えるのか聞く。

答弁 同システムで分析はできないが、利用者ニーズの把握等は重要であり、導入に伴い生み出した時間を分析等に充てる。

要望等 分析可能なシステムへ改修すべきである。また、限りある予算の中、事業検討の際には、唐突に進めず、議会と十分な議論を行うよう要望する。

図書館ICタグシステム 市民の生活を豊かにする図書館サービスを

質問 図書館ICタグシステムを導入し創出した時間で職員が行う専門的なサービスの内容を聞く。

答弁 利用者の調べ物相談に応じ、また、利用者ニーズを分析し魅力的で充実した蔵書を構築する。

要望等 同システム等によるデジタルサービスと、司書による書架づくり等のアナログサービスを融合させ、市民が生活を豊かにすることができる図書館とするよう要望する。

留守家庭児童会室 子どもの意見を反映したおやつの提供を

質問 留守家庭児童会室のおやつ提供業務委託料増額補正の内訳を聞く。

答弁 4年間の債務負担行為（＊1）を行うもので、既に可決された分を除く随意契約の障害者福祉施設分及び総合型放課後事業受託事業者分である。

要望等 同室での生活が楽しくなるように、おやつの量や質に子どもの意見を反映することが大切である。現状を検証し、充実を図るよう要望する。

住民税非課税世帯に 7万円の給付

12/8 満場一致

5年度一般会計補正予算（第7号）を可決

一般会計補正予算（第7号）は、国の総合経済対策に伴い、物価高騰による負担感が大きい住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金（対象世帯当たり7万円の給付）について増額補正を行うもので、歳入歳出それぞれ36億7250万円を増額するものです。

※1万円未満四捨五入

QA 本会議 質問と答弁

臨時特別給付金 住民税非課税世帯への給付スケジュールは

質問 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金7万円の給付スケジュールを聞く。

答弁 同世帯へお知らせ通知を送付し、12月19日までに口座変更や受け取り辞退の申出がない人には12月27日の振込を予定している。

要望等 国で定額減税等、様々な支援が検討される中、制度が決定され次第、しっかりと周知し、迅速に対応するよう要望する。

住民税非課税世帯の臨時特別給付金事業実施の目的は

質問 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業について、実施目的を聞く。

答弁 国の地方創生臨時交付金の低所得世帯支援枠を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による影響を受けている低所得者の生活を守るために支給する。

要望等 1日でも早く給付金を届けるとともに、その給付方法の効果検証も行うよう要望する。

住民税課税されている人の被扶養者のみの世帯給付対象外となる理由は

質問 住民税非課税世帯への臨時特別給付金に関し、5年5月に同様の給付を実施した際には、住民税課税対象者の扶養親族のみの世帯にも給付されたが、今回は対象とならない理由を聞く。

答弁 国の通知において、今後の税制改正を見据え、被扶養者のみの世帯は含まないこととされている。

要望等 今回給付されない世帯へ、しっかりと周知するよう要望する。

12/8 満場一致

コワーキングスペース及びシェアオフィスの設置 地域活性化支援センター条例の一部改正を可決

今回の改正は、貸室としていた地域活性化支援センターのパソコン研修室を廃止し、コワーキングスペース（＊4）及びシェアオフィスを設置するためのものです。

なお、施行日は6年4月1日です。

QA 本会議 質問と答弁

コワーキングスペース等 育児等の生活と仕事の調和を図れる空間に

質問 新たに設置するコワーキングスペース（＊4）やシェアオフィスは、どのような利用者を想定しているのかを聞く。

答弁 多様な働き方を求めるテレワーカーなど、世代や業種に関係なく、集中できる場所や自宅以外の仕事場所を求める人の利用を想定している。

要望等 育児、家事や介護等の生活と仕事との両立を助け、調和を図れる空間づくりを要望する。

子育て世代の創業等支援 一時預かり保育に加え授乳場所等の環境整備を

質問 地域活性化支援センターの利用者支援として行う一時預かり保育サービスの試行実施内容と本格実施への考えを聞く。

答弁 既存の保育室を活用し、週2回6か月間、未就学児を無償で預かる。また、利用状況等を踏まえ、本格導入を検討する。

要望等 子育て世代の魅力的な就労・創業支援として、授乳・食事場所や子どものトイレ等の整備も要望する。

◆その他の意見

意見 地域活性化支援センターに新たに設置するコワーキングスペース（＊4）の定期使用区分を設けるのであれば、当該利用者がいつでも利用できるスペースの確保が必要と考える。

人事案件

■監査委員
議会は、12月19日の本会議で、上森太一郎（うえもりたいちろう）氏を選任することに満場一致で同意しました。任期は12月21日から4年間。

■人権擁護委員候補者
議会は、12月22日の本会議で、次のとおり、推薦することに満場一致で適任と決しました。
江崎千里（えさきちさと）氏、竹内由紀子（たけうちゆきこ）氏、濱本尚子（はまもとなおこ）氏、林　文子（はやしふみこ）氏、太田祐月（おおたゆづき）氏

期末手当の支給率を改定

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を可決

12/8 賛成多数

本条例は、市議会議員の期末手当の支給率を本市の一般職と同様とするとした令和元年度の議会改革懇話会の報告に基づき、期末手当の支給率の改定（年間0・10月分引上げ）を行うものです。

1面 用語の解説

＊1 債務負担行為…複数年にわたる契約や後年度の支出が確実なものについて、期間や限度額などを定め、議会の議決を経て、将来の負担を約束すること。

＊2 街区…市駅周辺再整備では、枚方市駅周辺を①街区から⑤街区までの5つのエリアに定め、再整備を進めることとされている。

各街区の位置については左図のとおり。

＊3 土地区画整理事業…土地所有者等から公平に一定の土地の提供を受け（減歩）、道路、公園、河川などの公共施設を整備、改善し、土地の区画を整えて宅地の利用増進を図る事業のこと。

＊4 コワーキングスペース…様々な業種、所属先の人たちが、同じ空間を共有しながら働くことができる施設のこと。

3月 定例月議会 2月26日から 開催

詳しい日程は、2月19日の議会運営委員会で決定します。

日程はこちら（随時更新）

議決結果一覧

会派等所属別議員名（結成順に掲載。（　）は会派等の略称）	決議・意見書							その他							契約			人事案件		議員提出議案	条例の一部改正							5年度補正予算												
	・ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議	・認知症との共生社会の実現を求める意見書	・医療・介護・障害福祉分野における職員の処遇改善等を求める意見書	・食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書	・特定商取引法平成28年改正における5年後見直し規定に基づく同法の抜本的改正を求める意見書	・沖縄県名護市辺野古における米軍新基地の建設の断念等を求める意見書	・物価高騰の影響を受ける府立高等学校の学生食堂関係事業者に対する支援を充実、強化するよう求める意見書	・専決事項の報告（和解）	・専決事項の報告（損害賠償）【12月8日分】	・専決事項の報告（損害賠償）【12月22日分】	・市立総合スポーツセンター、市立市民体育館及び市立伊加賀スポーツセンターの指定管理者の指定	・訴えの提起	・市道の廃止	・市道の認定	・御殿山小倉線道路整備工事（3工区）その2請負変更契約締結	・長尾杉線（杉工区）道路整備工事（その3）請負変更契約締結	・長尾杉線（杉工区）道路整備工事（その4）請負変更契約締結	・監査委員の選任の同意	・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	・市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	・個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	・市税条例	・市長等の給与に関する条例及び市長等の給与に関する特別措置条例	・職員給与条例等	・市立地域活性化支援センター条例	・開発関係事務条例及び建築基準法関係事務条例	・手数料条例	・一般会計補正予算（第6号）	・一般会計補正予算（第7号）	・一般会計補正予算（第8号）	・一般会計補正予算（第9号）	・国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	・自動車駐車場特別会計補正予算（第2号）	・介護保険特別会計補正予算（第3号）	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	・母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算（第4号）	・水道事業会計補正予算（第3号）	・病院事業会計補正予算（第2号）	・病院事業会計補正予算（第3号）	・下水道事業会計補正予算（第2号）	・一般会計補正予算（第6号）	・一般会計補正予算（第7号）	・一般会計補正予算（第8号）	・一般会計補正予算（第9号）
	否決	否決	否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	聴取	聴取	聴取	可決	可決	可決	適任	同意	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
	－	－	－	4	4	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	－	1	－	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	4	1	1
自由民主党議員団（自　民） 田口敬規、前田富枝、長友克由、松本佑介	・藤田幸久議員（公明党議員団）は、議長としての立場上、採決に参加していません。							○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党議員団（共　産） 堤　幸子、広瀬ひとみ、松岡ちひろ、三和智之								○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
連合市民の会（連　合） 野村生代、八尾善之、奥野美佳、番匠映仁、大津真沙樹								○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪維新の会 枚方市議会議員団（維　新） 鍛治谷知宏、小池晶子、門川紘幸、泉　大介、岡市栄次郎、妹尾正信、大濱暢祐、佐田あゆ美、志甫直哉、高野寿陛								○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公明党議員団（公　明） 丹生真人、大地正広、藤田幸久、田中優子、一原明美、千葉雅民、東　実名子、峠　賢一								○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
命を守る政治の会（命守る） 漆原周義								○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

よりよいまちに 一般質問

一般質問とは…議員が市政に対する疑問をただし、執行機関の見解を求めるとともに、自己の意見を述べるものです。枚方市議会では、通常、6・9・12 月の各定例月議会で行われます。

録画映像はこちらから

奨学金返還支援制度 若年層の負担軽減のため支援対象の拡充を

公明党議員団　千葉雅民

質問 奨学金返還支援制度の根幹は、返済当事者の負担を軽減することであり、就職氷河期世代だけでなく、若年層も支援対象とするよう拡充すべきだが、見解を聞く。

答弁 奨学金返還に苦しむ若者を救済し、市内企業の人材確保や若者の就職定着につなげるために若年層への支援も必要だと認識している。

要望等 返済当事者の生活を最優先に考えた同制度の早期実施を要望する。

総合文化芸術センターで演劇研究大会地区大会を

質問 高校生の文化芸術活動に係る意識向上のため、広いバックヤードと最新設備を有する総合文化芸術センターで府高等学校演劇研究大会の地区大会を実施するよう、これまで要望してきたが、取組の進捗状況を聞く。

答弁 府高等学校演劇連盟と協議を重ね、同センター小ホールでの6年度からの地区大会、及び同センター大ホールでの6年度の府大会の開催が決まった。

教員の多忙化 根本的な解決のため人員確保と適切な配置を

連合市民の会　野村生代

質問 市は教員の働き方改革の推進を発表したが、これまでの取組内容から大きく進んでおらず、課題を根本的に解決するものではないと考える。市長は学校現場の状況をどのように認識し、また、どういった姿勢で働き方改革に取り組むのか。

答弁 業務時間や休職者の状況等から、教員を取り巻く状況は切迫しており、早急な対応が必要だと認識している。教員の声等を把握した上で、長時間労働の解消などを図り、生き生きと働ける職場環境を目指す。

要望等 教員の心のゆとりは子どもの心に影響するため、教職員の多忙化解消に向けた人員確保と適切な配置が何より重要である。学校が子どもにとって安心でき、多様性を認め合い、社会で生き合う関係を築ける場となるよう、現場の声を酌み上げ、本気の働き方改革として、大胆な予算編成を行うよう要望する。

◆その他の質問

○市は教育委員会の独立性を守った上で連携を起こっても、必要経費については増額を行う決意を持ち、無償化を実施するよう要望する。

◆その他の質問

○ダヴィンチ(＊1)手術は安全性を最優先に

○不育症検査費用助成対象となる検査の拡充を

学校給食の無償化後も給食の質の確保を

自由民主党議員団　田口敬規

質問 子育て世帯の負担軽減に向け、学校給食の無償化は必要な取組だが、併せて、給食の質の確保が重要と考える。無償化後は児童、生徒や保護者が給食に対する意見、要望を言いにくくなる可能性もあるため、食べる側の立場になり、給食の質を低下させないようにすべきだが、見解を聞く。

答弁 学校給食は、基準に基づく栄養バランスの取れた給食を提供しており、学校給食会の各種会議を通じて保護者や学校の意見も聴取し、運営している。よって、学校給食の質は、無償化となった場合においても、これまでと同等の質を確保できると認識している。

要望等 安全、安心な給食の提供を維持するため、さらなる物価高騰などが

社会情勢の変化を確認し実施施策の取捨選択を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　妹尾正信

質問 4年度決算の経常収支比率(＊2)は、前年度から3ポイント上昇し95・3%となったが、同比率の改善策を聞く。

答弁 DX(＊3)を活用した業務効率化等で安定した財政運営を維持する。

要望等 所信表明で掲げた小学校給食の無償化は、新たに数億円規模の継続的負担が生じ、財政硬直化の進行は明白である。社会情勢の変化を再確認し、実施施策を取捨選択することも必要と意見する。

公共施設の管理維持 技術の継承に向け人材の確保を

質問 少子・高齢化に伴う生産年齢人口の減少で、公共施設等の維持管理に直結する技術職員が確保できず、不在の自治体もあるという。他自治体や民間企業との人材獲得競争の激化も予想されるが、同職員の採用状況を聞く。

答弁 応募者数は近年減少傾向であり、今後、同職員の確保が困難になると予想される。人材確保に向け効果的に周知を行い、技術継承を考慮した計画的な採用に努める。

増え続ける介護保険料 必要な減免制度の拡充を

日本共産党議員団　松岡ちひろ

質問 国は介護保険制度の見直しを検討しているというが、本市の保険料算定に係る考えを聞く。

答弁 75歳以上の人口増等に伴うサービス量確保のため、引上げが必要だと考えるが、介護給付費準備基金を活用するなど、可能な限り保険料の軽減に取り組む。

要望等 国の負担額が少なく保険料は倍増している。引下げや最低限必要な減免の拡充を要望する。

3歳児の保育士配置 公民格差の解消を

質問 全国で不適切な保育事案等が発生していることもあり、国が保育士配置基準の改善を検討するというが、内容を聞く。

答弁 国は1歳児の同基準を5対1に、4・5歳児は25対1にすることを検討すると示している。

要望等 公立保育所の3歳児の同基準は20対1であり、15対1とする多くの私立保育園と差がある。安全な保育の実施と保育士が働きやすい環境の整備のため、格差を早急に解消するよう要望する。

災害時の情報伝達 市LINEの登録促進へ駅にQRコードの掲示を

公明党議員団　田中優子

質問 災害時は刻々と変化する状況に応じ、最新情報を適切に市民へ届ける必要がある。市公式LINEでは様々な防災情報を発信しているが、情報伝達の担保のため、駅やコンビニ、学校園等に同LINEのQRコードを掲示すべきではないか。

答弁 民間企業の協力で市内約50か所の喫煙所に同QRコードを掲示している例もある。より多くの場所での掲示も含め、登録促進の取組を進める。

難聴児への補聴器給付 対象年齢の拡大を

質問 難聴児特別補聴器給付事業について、学習支援の観点も踏まえて実施しているというなら、対象を18歳未満に制限せず、大学等在学中も支援すべきではないか。

答弁 若者入院医療費助成制度との整合性等も踏まえ、対象年齢拡大の早期実現に向けて検討する。

要望等 学業や生活の質の向上、鬱病予防のため、補聴器を必要とする18歳以上の人にも購入費の助成を行うよう要望する。

大谷選手から寄贈されるグローブの活用方法は

連合市民の会　番匠映仁

質問 大リーガーの大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈するグローブについて、本市では全小学校から受納希望があったというが、活用方法を聞く。

答弁 野球に興味を持ってほしいという寄贈の趣旨を各学校に伝える予定であり、キャッチボール等に活用されると考える。

要望等 この機に、キャッチボールができる公園100か所の整備を宣言し、各公園の役割整理を行うことを要望する。

スポーツ推進計画 計画の改訂におけるスポーツの捉え方は

質問 スポーツ推進計画の改訂に当たり、スポーツの日常化の方向性が重要だが、今回スポーツの捉え方をどう整理したのか。

答弁 散歩やダンスもスポーツに含む国の計画等を踏まえ、日常生活の健康増進等を意識した身体的活動も含むと明記した。

要望等 気軽にスポーツに取り組むという観点で、Sport in Life大賞(＊4)を受賞したparkrun(＊5)を応援するよう要望する。

若手職員のアイデア 所属長が採用することで挑戦しやすい組織風土に

自由民主党議員団　松本佑介

質問 市の変革には若手職員のチャレンジが重要だが、組織風土醸成に関する市の見解を聞く。

答弁 市長が研修等で失敗を恐れず挑戦してほしいという思いを伝えており、今後も様々な機会に人材育成基本方針を周知し、意識変革を進める。

要望等 同方針の浸透度には疑問を感じる。所属長が若手のアイデアを取り上げる姿を見せれば組織風土は変わると考える。こうした考えを全職員に伝えるよう要望する。

第3期実行計画 市の施策に市長の思いの反映を

質問 市の施策に市長の思いを反映させるには、総合計画(＊6)や所信表明等からのトップダウンによる施策策定が必要だが、第3期実行計画(＊7)では、どのように事務事業を選定するのか。

答弁 選定に際しては、所信表明を具体化したもの、新たな課題や施策評価への対応となるものを対象として整理している。

要望等 市長の思いが組織に届くことを期待する。

塾や習い事等の経済的負担への支援を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　鍛治谷知宏

質問 学習塾や習い事も学校教育と同様に教育の一端を担うが、費用がかかるため、家庭の経済状況によって教育環境に大きな格差が生じ、貧困の連鎖にもつながると考える。経済的困難を抱える家庭について、政策的な支援が必要ではないか。

答弁 家庭の経済状況により子どもたちの学びに格差が生じないよう、子どもの貧困対策という観点から、関係部署と支援の在り方や手法等について検討を進めている。

枚方版子ども園の認定こども園化を

質問 3歳児以上は保護者の就労状況によらず利用可能な点や、地域における子育て支援機能を併せ持つ点など、教育・保育環境の充実という観点の下、まずは枚方版子ども園(＊8)から認定こども園(＊9)化を進めていくべきだが、見解を聞く。

答弁 今後も教育、保育の量的ニーズや国の動向、財源確保等の様々な状況を見極めながら、認定こども園化も含め検討する。

親亡き後の障害者支援 検討の場を設置し取組の推進を

日本共産党議員団　広瀬ひとみ

質問 親亡き後の障害者支援に当たり、日中に通所施設等を利用していない人やショートステイ(＊10)未経験者などの実態を把握し、今後の施策や支援につなげるべきであるが、現状を聞く。

また、他市と同様、こうした支援を検討する場を設置し、取組の推進を図るべきではないか。

答弁 障害支援区分認定調査時等の面談の機会を捉え、サービス未利用者の実態を把握し、利用勧奨を行うとともに、ショートステイ事業者には積極的な受入れを依頼するなど、緊急時の備えとして取り組む。

また、親亡き後の障害者支援については、自立支援協議会幹事会でも議論しているが、地域生活支援拠点の整備等に係るワーキンググループを、こうした支援の検討に特化した機関とすることも含め、検討する。

◆その他の質問

○他市を見習い高齢者へ公共交通運賃の助成を

○不登校支援として学校外の居場所づくりを

全庁一丸となり認知症施策の推進を

公明党議員団　一原明美

質問 認知症基本法の成立により認知症施策推進計画の策定が努力義務とされたが、対応を聞く。また、策定する場合は、認知症の人や家族の意見を聞く予定はあるのか。

答弁 同計画は、ひらかた高齢者保健福祉計画21との関係性等を整理し、策定する。また、策定に際し、当事者の意見を聞く場の設置等を検討する。

要望等 認知症施策は、全庁一丸となり推進すべきと意見する。

認知症高齢者 行方不明時に府支援協定の活用を

質問 みまもりあいステッカー(＊11)については、利用実績が少ないというが、普及に向けた取組を聞く。また、府がコンビニエンスストア3社と締結する認知症徘徊行動等に関する支援協定について、本市も活用すべきだと考えるが、見解を聞く。

答弁 利用者の意見を聞きながら同ステッカーの普及に向けた検討を行う。また、同協定の活用も含め、幅広い施策展開について検討を行う。

新庁舎整備 ⑤街区移転を前提にせず大規模災害への備えも

連合市民の会　奥野美佳

質問 新庁舎は、駅前の公園、広場に隣接する広大な市有地に配置し、平時、災害時を問わない市民の拠点として整備すべきだが、考えを聞く。

答弁 安全、安心と利便性を実感でき、庁舎前広場やみどりの大空間を生かした誰にでも親しまれる市役所を目指す。

要望等 ⑤街区(＊12)移転が前提では多様な課題への対応ができない。大規模災害への備えも含め市民と共に新庁舎整備を検討すべきと要望する。

大阪・関西万博への遠足は各校が独自に判断すべき

質問 府は、大阪・関西万博へ府内の子どもを無料招待するという。市立小・中学校の対応を聞く。

答弁 貴重な機会と捉え、府教育庁から情報収集を行いながら、参加する方向で検討を進める。

要望等 学校行事である遠足の行き先は市や教育委員会が押しつけることなく各校が保護者の理解も得て独自に判断すべきで、安全対策等を府と十分協議するよう要望する。

認知症施策の推進 オール枚方で思い切った施策実行を

自由民主党議員団　長友克由

質問 認知症施策の推進には、地域の理解促進が必要であり、校区コミュニティ単位での取組が必要と考える。また、神戸市では、無料で診断を受けられる助成制度と認知症者対象の事故救済制度を組み合わせた「認知症神戸モデル」を構築している。思い切った施策実施へオール枚方での取組姿勢を示すべきだが、考えを聞く。

答弁 地域共生社会の実現を目指し、全庁一丸となって取組を推進する。

ひらかた博 レガシーとするため適切な指標設定を

質問 ひらかた万博(＊13)をレガシー(＊14)として次につなげていくため、適切な指標を設定し、効果等を評価しながら進めるべきと考えるが、いまだ明確な指標や目標が見えてこない。同万博の目指すものを聞く。

答弁 地域資源を活用し、魅力ある観光コンテンツを市内各地に創ることで、関係人口の増加などを図り、地域経済の活性化やまちへの愛着向上につながる状態を目指している。

育児とキャリアの両立へ 民間ノウハウを活用した家事等の時間的支援を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　大濱暢祐

質問 育児をしながら仕事を続けたいという意識が高まる中で、キャリアを諦めている現状は社会的課題である。育児とキャリアの両立への時間的支援として、家事支援等はニーズがあると考えるが、ファミリーサポートセンター事業の支援対象か。

答弁 同事業では、子どもの預かりや保育施設等への送迎の支援をしている。

要望等 民間ノウハウを活用した、新たな家事・育児支援の検討を要望する。

人事評価制度 他市の優れた事例積極的に導入を

質問 人事評価制度において、既定の評価項目で測れない部分を補うプラスアルファ評価は、職員の意欲向上につながる取組と考える。同評価に該当する行動の具体を聞く。

答弁 同評価の対象となった例として、業務のDX(＊3)化により、時間外勤務の削減に大きく貢献した行動等がある。

要望等 現状分析だけでなく、他市の優れた人事評価の取組を積極的に導入するよう要望する。

行財政改革 市民の暮らしを守る福祉施策の削減は問題

日本共産党議員団　堤幸子

質問 枚方市駅前開発に907億円もの莫大な事業費を投じる一方、新たな行財政改革プラン案によると、水道料金、下水道使用料の福祉減免制度や、精神障害者通所交通費補助事業の見直しを行うという。行財政改革による効果額は市民サービスの向上に使うべきだが、市民の暮らしを守る自治体としての役割を果たしていないのではないか。

答弁 行財政改革は、将来を見据えた中での必要なサービスの維持、向上のために必要な取組であり、社会情勢の変化を踏まえ、不断の取組として常に改善、見直しを図っていく必要があると考える。

要望等 精神障害のある人が事業所へ通所する際の交通費の補助は、まさに誰一人取り残さないための福祉施策であり、行財政改革の名目で削減を進めてはならない。同プラン案の見直しを求める。

◆その他の質問

○周辺住民にも配慮した茄子作地区の開発を

○支援体制の強化で高齢者の通いの場の充実を

2・3面 用語の解説

＊1 ダヴィンチ…正式名称はダヴィンチサージカルシステムXi。内視鏡手術支援ロボットのこと。医師が操作を行うことで、より精緻な手術が可能となる。傷口が小さく、患者の身体への術後負担が少ないなどのメリットがあり、医療の質のさらなる向上のため、市立ひらかた病院に導入されている。

＊2 経常収支比率…財政構造の弾力性を判断するための指標で、地方税、普通交付税など、使途の特定がなく、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費など、毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）が占める割合のこと。この比率が低いほど、財政構造に弾力性があり様々なニーズに対応して政策的経費に充当できる財源が多くあることを示している。

＊3 DX(Digital Transformation)…「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させる」という概念で、新たな価値を創造することを目的に、デジタル技術の駆使によって既存の枠組みを変化させること。

＊4 Sport in Life大賞…Sport in Life（生活の中にスポーツを）の実現を目指し、スポーツ人口の拡大に資する優れた取組を表彰するためにスポーツ庁が開催する「Sport in Lifeアワード」の最優秀賞のこと。

＊5 parkrun(パークラン)…イギリスから始まった世界約20か国1700か所以上で開催される5キロメートルのランニングイベントのこと。ランニングに加え、ウオーキングやボランティア等で誰でも参加することができる。市内では、国内7番目の開催地として、毎週土曜日午前8時に淀川河川公園枚方地区内で開催されている。

＊6 総合計画…目指すまちの将来像等を示す基本構想と、その具体化を図る施策や取組を定めた基本計画により構成される市の最上位計画のこと。

＊7 実行計画…総合計画(＊6)を構成する基本計画の具体的な実現計画として策定される計画のこと。

＊8 枚方版子ども園…市立幼稚園（枚方、高陵、蹉跎、田口山）の余裕保育室を活用して、1・2歳児を対象とした小規模保育事業を実施する本市独自の施策のこと。幼稚園での3歳児保育の実施と朝夕の預かり保育の拡充で、1歳から5歳まで切れ目なく教育、保育を提供する。

＊9 認定こども園…保護者の就労の有無にかかわらず、就学前の子どもに対し切れ目のない教育、保育を一体的に行う、幼稚園や保育所の機能を併せ持った施設のこと。

＊10 ショートステイ…介護を必要とする在宅の障害者（児）などの介護者が、さまざまな事情で一時的に介護できないとき、要介護者が福祉施設などに短期間入所し、必要な支援を受ける制度のこと。

＊11 みまもりあいステッカー…認知症等による徘徊で行方不明となった際の早期保護等のため、利用者が衣服やバッグに貼付するステッカーのこと。発見者がステッカー記載の電話番号に連絡し、事前登録者に連絡できる。

＊12 街区…市駅周辺再整備では、枚方市駅周辺を①街区から⑤街区までの5つのエリアに定め、再整備を進めることとされている。

各街区の位置については左図のとおり。

◆議場には、議員が座る「議席」や市長、部長などが座る「理事者席」のほか、議事の整理等を行う議長が座る「議長席」等がある。◆本市議会では、円滑な議会の運営等のため議会運営委員会を開催している。

『ひらかた』を30議員が

12月定例月議会では、12月15日・18日・19日・20日の４日間にわたって一般質問が行われ、30人の議員が本市の抱える諸課題について、市の考えをただしました。質問の内容については、各議員が項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。

高齢者のごみ出し支援 対象年齢の引下げを

公明党議員団　丹生真人（にふまこと）

質問 高齢者のごみ出し支援である①大型ごみ持出し、②ふれあい（＊15）の両サポート収集について、対象要件の拡大内容を聞く。また、①は、病気やけがの場合も考慮し、対象年齢を引き下げるべきだが、見解を聞く。

答弁 ①は、大型ごみ持ち出し時に粗ごみも同時に回収可能とするとともに、各世帯員が満たすべきいずれかの要件に「18歳未満」を追加する。②は、ひとり暮らしのみという世帯要件を緩和する。①の対象年齢の引下げは、利用者・処理可能件数等を検証し、検討を進める。

アポ電被害　録音機器の配付で特殊詐欺の抑止を

質問 特殊詐欺の発生が本市でも急増し、中でもアポ電（＊16）の手口が多いという。犯行の抑止力として、被害に遭うケースの多い単身の高齢者宅に、犯人の声を録音できる対策機器の配付や貸与を行うべきではないか。

答弁 録音機器の活用を含めて検討し、普及、啓発に取り組んでいく。

万博学習プロジェクト 全小・中学校の参加を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　志甫直哉（しほなおや）

質問 府が４歳から高校生までの無料招待を実施する大阪・関西万博について、小・中学校で学習機会はあるのか。

答弁 小学校４・６年生が社会科等で学習するほか、「わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト（＊17）」参加校の児童、生徒は、万博学習読本で学習を進めている。

要望等 同万博を訪れる価値を最大限に高めるためにも、同プロジェクトへの全校参加を要望する。

次世代自動車導入など脱炭素化に向けた施策を

質問 公用車の次世代自動車（＊18）導入に関する考えと状況を聞く。

答弁 第２次地球温暖化対策実行計画の基本方針「脱炭素化につながる環境整備の推進」で、電気自動車等を率先して導入するとしており、公用車441台のうち次世代自動車20台を導入している。

要望等 公共施設敷地への充電設備の整備や電気自動車等の国補助金への上乗せ給付等、脱炭素化に向けた施策を要望する。

医療と介護の連携推進で市民が望む人生の実現を

公明党議員団　峠賢一（とうげけんいち）

質問 介護が必要となった場合でも約60％の人が自宅での生活を希望するという市民実態調査の結果がある。その希望を実現するには、介護サービスだけでなく、医療的ケアを在宅で受けられる体制づくりが必要と考えるが、在宅医療の推進に向けた取組について聞く。

答弁 本市では、在宅医療の需要増加に備え、医療機関や介護事業者との総合調整を担う在宅医療コーディネーターを活用した取組を進めるなど、体制強化を図っている。さらに、次期医療計画の中で、市内における在宅医療の拠点設置に取り組むなど、在宅医療の一層の推進を図っていく。

要望等 三鷹市では、在宅医療・介護の推進を図る福祉拠点を設置している。本市もこうした強いリーダーシップで在宅医療・介護の連携推進を図り、一人一人が望む人生を歩めるよう取り組むことを要望する。

◆その他の質問

○高齢者が生きがいを感じ働ける環境の整備を

公民連携で王仁公園のさらなる魅力向上を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　岡市栄次郎（おかいちえいじろう）

質問 王仁公園で整備を進めているスケートボード場は５年度内に完成予定というが、進捗を聞く。

答弁 現地の測量や草刈り等に着手しており、６年１月からは盛土やセクション（＊19）の築造等、本格的な整備工事を実施し、３月の完成を予定している。

要望等 ３月にはフットサルコートも完成予定という。これからも公民連携を図りながら、王仁公園のさらなる魅力向上に努めるよう要望する。

ふるさと寄附金　自主財源の確保へ組織体制の整備を

質問 人口減少に伴う市税収入の減少等が見込まれる中、ふるさと寄附金による自主財源の確保は重要である。市のPR強化や新たな返礼品の開拓等に注力できる組織体制の整備が必要ではないか。

答弁 体制強化で大幅な効果が出た前例もあるため、最も効果的な手法について総合的に判断する。

要望等 投入した人的資源以上の費用対効果が見込めるため、早急な取組の推進を強く要望する。

ペットとのお別れの場「絆」存続への考えは

公明党議員団　大地正広（おおじまさひろ）

質問 枚方京田辺環境施設組合への一般廃棄物処理権限の移行に伴い、市が無料で実施する動物死体処理の委託・有料化を検討しているという。ペットとのお別れのため、市独自の取組として設置している、動物遺体の無料受入れ場所「絆」を存続させるべきだが、考えを聞く。

答弁 同場所は新聞等にも取り上げられ、市民からも好評であることから、存続も含めて検討する。

届出要件の緩和等で地域猫活動の推進を

質問 地域猫活動（＊20）の届出は、自治会長の押印を要するなど、要件が厳しい。同活動推進の観点から、要件緩和が必要と考えるが、見解を聞く。

答弁 同活動の届出要件が厳しい点は課題であると認識しており、要件の改定を検討していく。

要望等 同活動は、ルールを守っていても理解不足による非難もあるという。理解増進に向けた啓発、地域猫の不妊手術費補助金の増額を要望する。

「小１の壁」解消に向け子どもの新たな居場所を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　小池晶子（こいけあきこ）

質問 5年度から実施している総合型放課後事業（＊21）では保護者に寄り添った改善を図るという。保護者からは、子どもの就学に際し、登校時間に鑑みると出勤時刻に間に合わず、常勤職員からパートタイム職員にならざるを得ないといった「小１の壁（＊22）」に直面したとの声を聞くが、同事業において、他市のように朝７時から子どもが過ごせる場を提供することに対する見解を聞く。

答弁 放課後オープンスクエア（＊23）の開室時間延長を検討しており、今後もアンケートなどでニーズを把握し、より児童や保護者に寄り添った事業となるよう取り組む。

要望等 不登校・貧困・虐待事例が増加する中、教育と福祉の連携が求められる。子育てのまちの推進に向け、新たな子どもの居場所づくりの施策を検討するよう要望する。

◆その他の質問

○男性職員の育休取得を促進し女性活躍推進を

○公民連携でeスポーツによる行政課題解決を

枚方市駅周辺に一時預かりも可能な屋内の子どもの遊び場を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　佐田あゆ美（さたあゆみ）

質問 枚方市駅周辺に、子どもの一時預かりも可能で子育て支援機能を持つ屋内の子どもの遊び場を求める声がある。こうした施設の設置可能性を聞く。

答弁 子育て家庭の支援や市駅周辺のにぎわいづくりにもつながるため、引き続き市民意見も聴取しながら検討を進める。

要望等 市が連携しないと、民間のみで設置することは難しい。前向きな検討を要望する。

障害のある人のための防災ガイドの作成を

質問 障害のある人自らが、災害時に必要な支援を事前に確認し記しておくことは、防災意識の向上や周囲の理解促進につながる。他市を参考に、こうした確認等ができる防災ガイドを作成すべきだが、本市の取組を聞く。

答弁 障害のある人への支援の要点等を記載したリーフレットや点字・音訳版の防災ガイドの作成、配布のほか、災害時の適切な避難行動等をテーマに、当事者団体等への出前講座を実施している。

文化財を活用した楽しめる取組を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　泉大介（いずみだいすけ）

質問 貴重な無形民俗文化財の活用は、市の魅力発信のため重要と考える。5年3月、伝承音頭である「交野節」が、記録作成等の措置を講ずべき同文化財として府に選ばれたが、評価された点を聞く。

答弁 高齢化等で伝承が危ぶまれる中、地域で受け継がれ、府内の盆踊り歌の変遷等を知る上で貴重である点が評価された。

要望等 文化財を活用し、市民や観光客が楽しめる取組を行うよう要望する。

未来を変えるプロジェクト　若年層を巻き込み地域のICT化促進を

質問 高齢化する地域におけるICT化促進のため、若年層を巻き込むことが重要である。現在、子どもの学習の一環として、地域の課題解決を行うような取組はあるのか。

答弁 2つの中学校で「君のアイディアが未来を変えるプロジェクト」として、生徒が本市の課題解消策等を探究し、提案する取組を行っている。

要望等 同プロジェクトで、地域のICT化促進に取り組むよう要望する。

長尾駅周辺のまちづくり 市街化区域編入に向け必要な支援を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　高野寿陛（たかのひさのり）

質問 長尾駅周辺では地権者が土地区画整理事業（＊24）を念頭にまちづくりを検討しているが、現在の取組と今後の想定スケジュールを聞く。

答弁 現在、地域の各ブロックで地権者組織設立を目指しており、設立後は事業協力者の募集等を行う。市としては、市街化区域編入に向けた都市計画手続など、計画的なまちづくりを支援する。

要望等 同駅のまちづくりを推進するため、保留フレーム（＊25）の設定に向けた支援を要望する。

化区域・市街化調整　規制緩和の際は企業誘致等の取組を

質問 地域経済に貢献する事業を支援する地域未来投資促進法について、国の見直し内容を聞く。

答弁 全国的な産業用地不足解消に向け、条件を満たせば、市街化調整区域（＊26）での工場等の建設を許可できるように制度改正が検討されている。

要望等 制度改正の際は、企業誘致等の経済活性化に向けた取組を進めるよう要望する。

自治会館屋外型AED設置に向け市として早期に事業化を

命を守る政治の会　漆原周義（うるしはらちかよし）

質問 救命率向上のため、24時間誰でも使用可能な屋外型AEDを、公共施設に準ずる施設である自治会館に設置するよう要望してきた。ニーズ把握のため市が自治会に対し行ったアンケート調査では、屋外型AEDの設置が可能で、かつその必要性を感じるとの回答を54団体から得たという。当該結果を受け、一刻も早く市として事業化を進めるべきだが、見解を聞く。

答弁 屋外型AEDのリース契約についてニーズがある一方、維持管理に対する不安の声やコスト面の課題があることから、事業化する上での課題を整理していく。

猫の不妊手術費用市民負担への考えは

質問 ボランティア等が猫に不妊手術を受けさせる際の費用負担には課題があると考えるが、市長の見解を聞く。

答弁 猫の不妊手術などの動物愛護活動に取り組む市民の負担は認識している。負担軽減に向け、検討していく。

長尾駅周辺地区 隣接市からも集客可能な俯瞰的なまちづくりを

公明党議員団　東実名子（ひがしみなこ）

質問 長尾駅周辺地区のまちづくりは、技術革新等を踏まえ、対象地区を俯瞰的に捉えて進めるべきと考えるが、見解を聞く。

答弁 JR学研都市線沿線は、将来的に北陸新幹線整備と併せた停車駅設置で高い経済効果が見込まれるエリアであり、本市を含む沿線都市等で連携し、同沿線のまちづくりビジョン策定に取り組む。

要望等 隣接市からも人を集客できるようなまちづくりを要望する。

孤独・孤立対策　全庁的な取組と対策協議会の設置を

質問 孤独・孤立対策推進法の施行に伴う対策地域協議会・対策推進本部設置に向けた取組状況と、孤独、孤立に係る具体的な支援策について聞く。

答弁 同協議会の設置は、既存の会議体の活用等も含めて検討し、同推進本部等の設置は、庁内協議の場として検討する。また、スマホ等で支援情報を検索できるシステムの導入を予定している。

要望等 全庁的な取組と、同協議会設置を要望する。

エネルギー価格高騰 小規模事業者への支援金事業の周知に課題あり

連合市民の会　大津真沙樹（おおつまさき）

質問 小規模事業者対象のエネルギー価格高騰対策緊急支援金について、存在を知らなかった等の声を聞く。周知、啓発に課題があったと考えるが、どのように行ったのか。

答弁 約6000事業者に対する案内チラシの送付、駅やバス車内へのポスター掲出や東部地域の小売店舗を中心としたチラシ等の配架依頼など、様々な手法で周知した。

要望等 今後も適切な事業者支援を要望する。

無形民俗文化財　対象となる祭り等を調査できる体制を

質問 地域の伝統的な祭りや行事等が対象となる無形民俗文化財の調査をどのようにしているのか。

答弁 祭りに焦点を当て、聞き取りや神社へのアンケート、現地での確認調査等を進めている。

要望等 祭り等を通じて地域に生まれる連帯感や愛着が地域活性化にとって重要で、まちづくりのベースになると考える。祭り等が継承されるよう、継続的に調査できる体制を整えるよう要望する。

限られた財源の中 事業の優先順位の判断を

自由民主党議員団　前田富枝（まえだとみえ）

質問 長期財政の見通しにおいて黒字を維持できると楽観し、慎重に検討せず財政負担の大きい事業を次々に進めているが、限られた財源の中、様々な分野に目を向け、真に必要な事業の優先順位を判断するのが財政運営である。将来に負担をかけ、財政が傾いた場合の責任について、市長の考えを聞く。

答弁 仮に財政破綻した場合、その責任は市長にあるが、そうした事態にならないよう、しっかりシミュレーションしながら財政運営を行っていく。

自らを処分しない市長の姿勢に疑問

質問 公職選挙法違反のおそれのある行為について、市長の職務に係る倫理に関する条例第２条に抵触しないのか。

答弁 同条例の行動基準には抵触しないが、第２条では、自らの行動が市政の信用に影響を与えるとしており、市政への信頼を傷つけるようなことになり、申し訳なく感じている。

要望等 自らを処分しない姿勢は疑問と意見する。

百済寺跡再整備事業 トイレ等の整備や近隣住民等との連携を

大阪維新の会 枚方市議会議員団　門川紘幸（かどかわひろゆき）

質問 国の特別史跡である百済寺跡は再整備事業が進められており、現在は、築地塀工事が進んでいるが、完成予定など今後のスケジュールを聞く。

答弁 ４年度から開始した築地塀工事は、５年度内の完成を予定している。また、再整備事業については、６年度中に完了させる方向で進めていく。

要望等 トイレ等の環境整備、近隣住民や隣接神社と連携しての工事完了に向けた準備を要望する。

水道管　漏水時の迅速な対応と老朽管の更新を

質問 5年10月に中宮山戸町で発生した漏水事故の原因とその対応を聞く。

答弁 水道本管分岐部分の亀裂が原因の事故で、管の口径が早急に水を止める必要がある大きさだったため、職員が断水する家を訪問し協力を依頼した。その後、新たな水道管で補修し、復旧した。

要望等 漏水事故の際は、迅速な対応と市民への適切な広報を行い、また、老朽管の更新に重点的に取り組むよう要望する。

子ども食堂 物価高騰で厳しい運営補助金の引上げを

日本共産党議員団　三和智之（みわともゆき）

質問 地域のボランティア等が運営する子ども食堂は、子どもが安心でき、保護者がほっとできる居場所でもあるが、物価の高騰で運営が大変と聞く。同食堂への補助金を引き上げるべきではないか。

答弁 運営団体には、府や民間事業者等からの金銭的支援があるほか、食材寄附の申出があった際は、市が取次ぎを行っている。補助額は、こうした状況や各子ども食堂の収支等を踏まえ、検討する必要があると考える。

男性の性被害　府任せではなく市相談窓口の充実を

質問 男性の性被害相談について、府にある性暴力救援センターの対象年齢は18歳未満である。18歳以上の人も含めて安心して相談し、適切な支援を受けられる体制が必要と考えるが、見解を聞く。

答弁 府が18歳以上も含めた男性の性被害の相談窓口を開設している。適切な支援へ、周知等に努める。

要望等 本市においても、男性の相談、支援に係る窓口の充実等を要望する。

＊13 ひらかた万博…2025年に開催される大阪・関西万博に向け、市民や企業等の多様な主体との共創による事業やイベント等を通じ、地域経済の活性化やまちへの愛着向上を目指して実施する市独自の取組のこと。市域全体をパビリオンに見立て、健康、環境、にぎわい創出など様々な分野の取組を実施する。

＊14 レガシー…事業の実施後に社会や環境、経済などの分野で長期的に残っていく有益性の高い影響のこと。

＊15 ふれあいサポート収集…ごみを収集場所まで持ち出すことが困難な高齢者、障害者等で構成される世帯に対し、市の職員が玄関先まで戸別に訪問し、ごみを収集する支援事業のこと。

＊16 アポ電…アポイントメント電話の略称。犯人が親族、警察官、役所や金融機関の職員等に成り済まし、犯行を行う前の準備段階として、家の状況や資産を把握する目的でかける電話のこと。

＊17 わくわく・どきどきSDGsジュニアプロジェクト…府内小・中学校において、「2025年日本国際博覧会協会教育プログラム」を活用し、SDGs（持続可能な開発目標）への理解増進を目的として探究的な学習を実施するプロジェクトのこと。

＊18 次世代自動車…電気自動車や燃料に水素を使用する燃料電池自動車など、ガソリン車などと比べ、地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量が少ない車のこと。

＊19 セクション…スケートボード場に設置される、傾斜や段差をつけた障害物等の総称。

＊20 地域猫活動…飼い主のいない猫をなくしていくことを目的として、地域住民と飼い主のいない猫との共生を目指し、餌、トイレの世話や不妊手術を行い、その猫を地域で見守る活動のこと。

＊21 総合型放課後事業…留守家庭児童会室、枚方子どもいきいき広場、放課後オープンスクエア（＊23）の3事業を総合的に運営する事業のこと。

＊22 小1の壁…保育所等を利用していた共働き家庭などが、放課後等における子どもの安全、安心な居場所を確保する必要に迫られる中、子どもを預けられる施設がない、または、小学校の受入れ可能時間が保育所等より短いといった理由で働き方を変えなければならないなど、子どもの小学校入学を機に直面する様々な問題のこと。

＊23 放課後オープンスクエア（放課後子ども教室）…総合型放課後事業（＊21）のうち、放課後に児童が安心して自由に遊べる場として新たに学校の一部を開放する事業のこと。

＊24 土地区画整理事業…土地所有者等から公平に一定の土地の提供を受け（減歩）、道路、公園、河川などの公共施設を整備、改善し、土地の区画を整えて宅地の利用増進を図る事業のこと。

＊25 保留フレーム…市街化調整区域（＊26）のうち、土地区画整理事業（＊24）等による計画的な市街地整備が確実となった時点で、市街化区域への編入が可能となる区域のこと。

＊26 市街化調整区域…都市計画法により定められた都市計画の一つで、市街化を抑制すべき区域のこと。この区域内では、開発行為や建築行為などが許可制度によって制限される。反対に、市街化を促進する区域を市街化区域という。

ぎかい探Q豆知識　◆本市議会では、基本理念等を定めた最高規範として「枚方市議会基本条例」を制定している。◆執行機関議事不参与の原則があるため、執行機関は自主的に議会に出席できない。

国の総合経済対策に伴う給付金事業費や物価高騰への対応経費など

一般会計補正予算（第8・9号）を可決

12/22 満場一致

一般会計補正予算（第8号）は、国の総合経済対策に伴う給付金事業費や物価高騰への対応経費等について増額補正を行うもので、歳入歳出それぞれ9億1553万円を増額するものです。

歳入の主な補正内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金6億3944万円、財政調整基金繰入金2億7040万円の増額です。

歳出の主な補正内容は、次のとおりです。

▼住民税均等割のみ課税世帯に対する給付金事業費（対象世帯当たり8万5000円の給付）…4億5402万円

▼福祉施設や医療機関等に対する光熱費等支援事業費（社会福祉施設、保育所等及び医療機関等の光熱費の支援）…4億5122万円

債務負担行為の補正内容は、次のとおりです。

▼禁野小学校（旧中宮北小学校）体育館空調設備整備事業費（体育館空調整備設計委託）…280万円

一般会計補正予算（第9号）は、国の総合経済対策の追加策に伴う給付金事業費について増額補正を行うもので、歳入歳出それぞれ3億4896万円を増額するものです。

歳入の補正内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3億4896万円の増額です。

歳出の補正内容は、次のとおりです。

▼低所得者の子育て世帯に対する給付金事業費（18歳以下の児童1人当たり5万円の給付）…3億4896万円

※1万円未満四捨五入

市街化調整区域の一部に都市計画税を賦課

市税条例の一部改正を可決

12/8 満場一致

今回の改正は、市街化区域と外観上差異のない土地利用がされている市街化調整区域（＊1）のうち、法で規定する地区計画を定めた区域について、都市計画税を賦課するものです。

QA 本会議 質問と答弁

課税対象区域の選定等条例改正の経緯は

質問 市税条例の一部改正に至る経緯を聞く。

答弁 課税対象区域の選定等について庁内横断的に議論し、精査した。地区計画区域については、府からも、市街化調整区域（＊1）のうち都市計画税を課税できる特別の事情に該当しない区域とまでは言えないと示されており、課税対象とした。

要望等 同税を負担する地権者に対する確実な事前周知等を要望する。

4面 用語の解説

＊1 市街化調整区域…都市計画法により定められた都市計画の一つで、市街化を抑制すべき区域のこと。この区域内では、開発行為や建築行為などが許可制度によって制限される。反対に、市街化を促進する区域を、市街化区域という。

QA 本会議 質問と答弁

6年度予算にも生活を支える施策を

質問 物価高の影響を受けた事業者等の支援に向け、実情をどのように把握したのかを聞く。

答弁 4年度に同様の給付を実施した際の事業者等への聴取や保険医団体連合会のアンケート内容により継続的な物価高騰が経営悪化につながっている実情を確認した。

要望等 4年度の学校給食無償化の取組と同様、6年度も生活を支える施策を講じるよう要望する。

国交付金を活用した支援実施内容は

質問 国交付金を活用した支援の実施内容を聞く。

答弁 公共性の高い福祉施設等に10万円から50万円を給付する。また、住民税均等割のみ課税世帯には6年1月末に8万5000円を、低所得者の子育て世帯には2月末をめどに対象児童1人当たり5万円を給付する。

要望等 同施設等への給付には申請が必要というが、確実に周知し、早急に支援するよう要望する。

医療機関等への支援 迅速な給付とともに経営環境にも注視を

質問 4年度に続き5年度も保険医療機関や福祉施設等の光熱費等補助を実施するという。前回実施時の事業者等の反応と今回の給付方法を聞く。

答弁 事業者等からは、状況改善の一助となった等の声が寄せられた。今回も電子申請を基本とし前回同様に円滑な給付に向け申請受付等を進める。

要望等 迅速に給付し、事業者等の経営環境を注視するよう要望する。

禁野小学校体育館 空調設備の整備理由と新校舎移転後の活用は

質問 禁野小学校以外の体育館空調整備が進む中、8年度に新校舎に移転する同校体育館に空調を整備する理由と、8年度以降の同体育館の活用を聞く。

答弁 熱中症対策や避難所運営に鑑み、他校と同時期に空調の稼働が必要と判断した。同体育館は、有効活用を図る方向で検討している。

要望等 スポーツ施設や防災拠点等としての活用を検討するよう要望する。

禁野小学校 新校舎移転後の跡地利用 行政機能集約化の視点を

質問 禁野小学校は新校舎へ移転予定だが、跡地利用の方針は決定していない。どのような場で決定していくのかを聞く。

答弁 具体的な方向性については、地元要望や庁内の活用意向を踏まえ、公共施設マネジメント推進委員会で決定し、方針案を作成する。

要望等 地元要望や行政機能集約化等の視点も踏まえ、行政課題の解決につながる利用を要望する。

◆その他の意見

意見 給付金給付について、光熱費や食費等の物価高騰に苦しむ対象世帯に対し、漏れがないよう周知を行うとともに、迅速で確実な支給を要望する。

災害対策訓練を実施

議会内に連絡会議を設置

議会は、1月12日に災害対策連絡会議訓練を実施しました。これは、「枚方市議会における災害発生時対応要領」に基づくもので、地震と水害の複合災害が発生したという想定の下、電話やメール等を活用し議員の安否確認を行うとともに、議会内に災害対策連絡会議を設置し、被災状況などを報告しました。

その後、同会議では、災害時における行動や今後の訓練に生かしていくための意見交換等も行いました（写真右）。

＼開庁時間内ならどなたでも利用できます／

市議会図書室のご案内

市議会図書室は、市役所本館4階（市議会事務局横）にあり、市議会の会議録や地方自治関係を中心とした図書、雑誌など、約2700冊を備えています。

クオカードが当たる!? クイズコーナー

やってみよう 解いてみよう ぎかい探Q（たんきゅう） 13

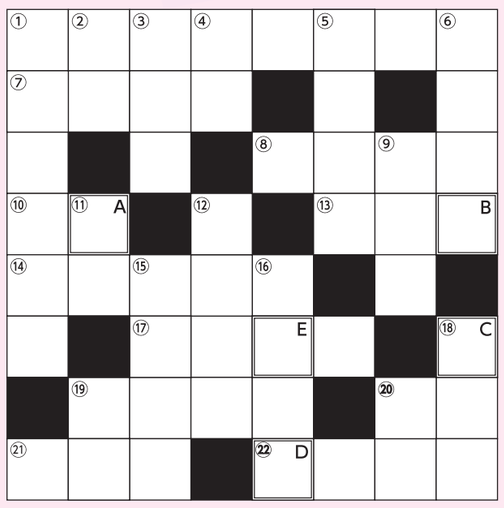
議会に関するカギのヒントが紙面の2・3・4面のどこかにあるかも！

A　B　C　D　E

下記の「タテ・ヨコのカギ」を参考にマスを埋め、A～Eを並べて出てくる言葉は何でしょうか？
※1マスにつきカナ1文字が入ります。小さい「ッ」などは大きい「ツ」などと同じ文字として扱います。

応募方法 市議会ホームページに掲載の応募フォーム（右下コード）または、はがき、電子メール、ファクスに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、議会報の感想を書いて市議会事務局（〒573－8666住所不要）へ。2月25日必着。1人1通。抽せんで10人にクオカード（500円分）をプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募はこちら



問市議会事務局
☎072(841)1528／FAX 072(841)0240
✉gikai@city.hirakata.osaka.jp

2月は豆まき！鬼は外！

タテのカギ

①枚方市議会の最高規範は「枚方市○○○○○○条例」です。
②枚方市議会では、通年議会制を導入しており、定例会の回数を年1回とし、「○○期」を通年としています。
③木材、竹などを並べて結び合わせ、水に浮かべるものを「○○○」といいます。
④○○王国の首都はバンコクで、国技はムエタイです。
⑤枚方市議会では、議員の自主的な調査、研究を行う機関として、「全員○○○○会」、「委員○○○○会」を設置しています。
⑥片目をまばたいて合図を送ること。
⑨江戸時代から枚方の地に伝わる「○○○素麺」。
⑪枚方市内には、国の史跡に指定された「古○○」として、「牧野車塚古○○」と「禁野車塚古○○」の2つがあります。
⑫善政を行う、優れた君主を「○○○○」といいます。
⑮神奈川県内で、横浜市に次いで2番目に人口が多い政令指定都市は「○○○○市」です。
⑯議会の代表である「○○○○」は、議場の秩序保持や議事の整理、議会事務の統理を行います。
⑱反対、反抗する意思などを表す表現を「○○○」といいます。
⑲枚方市議会では、会議の長により発言の取消しの申出が許可されれば、その取消しとなった発言は、閲覧用の会議録において「○○字」にします。
⑳殊さらに外観を飾ることを「○○を張る」といいます。

ヨコのカギ

①このクイズコーナーの名称は、「○○○○○○○○」です。
⑦通年議会制の枚方市議会で、1年のスタートとして5月に開かれる「○○○○議会」。
⑧物と物とを取り替えることを「物々○○○○」といいます。
⑩ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に「○○」を行った場合に、○○額のうち2000円を超える部分について所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です。
⑬本当かどうか、不正があるのではないかなどと疑いを持つこと。
⑭全議員で構成される「○○○○○」では、議案等を審議し、市議会の最終意思を決定します。
⑰「インフルエンザ○○○○」には、インフルエンザの重症化を防ぐ効果があるとされています。
⑲市長等の行政側は、議会側の要求がなければ議会の会議に出席できない。これを「執行機関議事（しっこうきかんぎじ）○○○○の原則」という。
⑳室町時代の第3代将軍足利義満は、当時の中国の王朝「○○」との貿易を進めました。
㉑議場で議員が座る席。または議員としての資格を「○○○」といいます。
㉒議会の円滑な運営と、能率的な議事の進行を図るために設置され、各議会期間等について協議を行う会議を「議会○○○○委員会」といいます。

ぎかい探Q 12 答え

枚方市議会報 第348号掲載

ししまい

議会は、12月8日の本会議で、1件の決議を、22日の本会議で、3件の意見書を原案のとおり可決しました。

可決した決議（要旨）

決議とは…議会が対外的に意思を表明する必要があるなどの理由から、議会の意思を決議書の形として議決するものです。

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

パレスチナ自治区のガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との戦闘が始まり、2か月が経過しました。双方の応酬は、同地区において、人命を深刻な危機的状況にさらすとともに、市街地に甚大な被害をもたらしています。

こうした状況を受け、我が国を含む先進7か国のG7外相会合は、「テロ攻撃を断固として非難し、全ての人質の即時解放を求める」とした上で、「同地区の人道危機に対処するため、戦闘の人道的休止と人道回廊の設置を支持する」旨の緊急声明を発表しました。

本市は、全世界の平和と安全が人類共通の念願であるとする「非核平和都市宣言」を行っており、このたびの紛争に関しては、いかなる理由があろうとも、一般市民への攻撃と非人道的行為は正当化できないと言わざるを得ません。

よって、本市議会は、これ以上人道危機が悪化しないよう、国際法に基づき、事態の早期鎮静化と人道状況の改善を図るとともに、一刻も早く紛争を終結することを求めるものです。

可決した意見書（要旨）

意見書とは…市の公益（市民の日常生活に関わる公共の利益）に関する事項について、議会の意思として議決し、国会または関係行政機関に提出するものです。

認知症との共生社会の実現を求める意見書

政府は、予算措置も含め、行政の体制を一層強化させ、一刻も早い認知症との共生社会を実現するため、左記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 認知症基本法施行に向け、立法趣旨を踏まえ、認知症施策推進本部等の準備に万全を期すこと。また、認知症に対する偏見や差別を解消するため、省庁横断的かつ総合的な取組の推進に総力を挙げること。
2. 自治体が認知症施策推進計画を策定するに際し、専門人材の派遣などの適切な支援を行うこと。また、自由度の高い事業を展開できる予算措置を検討すること。
3. 共生社会の実現を推進する取組を、総合的かつ継続的に推進すること。また、認知症の方々が自治体施策の企画から評価まで参画できる体制整備を検討すること。
4. 認知症の方々の就労を支える体制整備を進めて相談体制を充実し、本人の状態に応じて社会の一員として生活できる、事業者も含めた社会環境を整備すること。
5. 一つの事業所で、継続的に介護保険サービスを提供する小規模多機能型居宅介護サービス事業について、見守り体制の整備も含めて拡充すること。
6. 認知症になったとしても、安全、安心に生活ができる社会環境の構築に向け、成年後見制度や身元保証等の在り方について課題の整理、検討を進めること。
7. 全ての国民が正しく認知症に向き合う社会に向けて、認知症発症予防や、認知症の容態に応じた相談先等について、繰り返し学べる環境を整備すること。

〈提出先〉財務大臣、厚生労働大臣

医療・介護・障害福祉分野における職員の処遇改善等を求める意見書

政府は、介護職員等の賃金水準を確保するための制度改革及び職員の生活を保障する取組を迅速に推進するため、左記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 医療・介護・障害福祉分野の賃上げについて、経済対策としての処遇改善支援事業を早期に実行すること。その上で、2024年度の同時報酬改定においては、物価高騰、賃金上昇等を踏まえ、処遇改善等を行うこと。
2. 新型コロナウイルス感染による緊急時のサービス提供に必要な介護人材確保のため、地域医療介護総合確保基金における新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業の活用を推進すること。
3. 介護や障害福祉を支える職員は、専門職として、高齢化社会を支える必要不可欠な人材であることから、公営住宅の空き家の地域対応活用を促進すること。

〈提出先〉財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣

食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書

政府は、食品ロス削減推進法に基づき、食品ロス削減に向けた国民運動のさらなる推進のために、左記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. エシカル消費の普及、啓発を一層進めるとともに、食品ロス削減を積極的に進める事業者への評価や支援の強化を図ること。また、地域や事業者の食品ロスの計測、公表等の体制を拡充し食品ロス削減に係る実効性を強化すること。
2. 使用量に合わせた小分け包装や、賞味期限等の延長に繋がる容器等の改善、外食産業における食べ切りを積極的に進めるための取組を一層強化すること。
3. 企業等から子ども食堂等への在庫食品の寄附促進や、フードドライブ等の利活用によって、もったいないとお裾分けの好循環をつくり、国民運動としての取組を一層強化すること。
4. 事業系の食品ロスを削減し、子ども食堂等への支援を行うために、企業などから提供された食料品等を随時必要とされる住民や団体等に提供するコミュニティフリッジの設置や運営等に対する支援制度を整備すること。
5. 食に関わる事業者と野菜等の生産者の連携を促すとともに、出荷・加工前に廃棄されている地域の食材の活用に取り組む地方自治体等に対して、積極的な支援を行うこと。

〈提出先〉厚生労働大臣、農林水産大臣、環境大臣、消費者庁長官、こども家庭庁長官

編集後記

梅の花が咲く季節、いかがお過ごしでしょうか。

今号では、12月定例月議会の内容を中心に掲載しました。また、クオカードが当たるクイズコーナー「ぎかい探Q（たんきゅう）」では、クロスワードパズルを取り上げました。

今回は、いつもより少し難しくなっていますが、議会の知識を深めていただくことのできる問題を多く取り入れていますので、ぜひクイズに挑戦の上、御応募いただき、御意見、御感想を市議会事務局までお寄せください。

枚方市議会報は、各会派から選出した委員で構成する議会広報委員会で協議、決定した編集基準に基づき編集しています。

議会広報委員会
委員長…藤田　幸久
副委員長…八尾　善之
委員…松本　佑介、三和　智之、大津真沙樹、小池　晶子、峠　賢一

枚方市議会報は、再生紙（古紙70％）を使用しています。

UD FONT

ぎかい探Q豆（まめ）知識　◆本市議会では、例年5月に開催する開会議会から、約1年間の会期にわたり定例会を開く。◆本市議会には全員協議会、委員協議会があり、議員が自主的な調査、研究を行っている。